

No.	B05
タイトル	(都) 東合川野伏間線街路事業の整備効果について
所属・名前	福岡県 建築都市部 公園街路課 坂田 英之
キーワード	①環状線 ②混雑緩和 ③緑化復元
<p>本路線は、昭和 37 年に都市計画決定された全長 6,540mの都市計画道路であり、昭和 48 年に最北部の975mを供用して以来、平成 17 年度までに、計画決定延長の約 6 割にあたる 4,025mを供用しています。そして今回報告する、最後の未供用区間である国道 322 号から、北島交差点までの 2,820mについて、福岡県及び久留米市で整備を行い、平成 25 年度に全線を供用いたしました。</p> <p>事業を実施した久留米市は、市中心部から放射状に延びる 7 つの幹線道路により、形成されていますが、幹線道路を繋ぐ道路が発達していないことから、通過交通が市中心部に流れ込み、慢性的な渋滞引き起こしていました。そのため、通過交通の分散化を目的として、市郊外で各幹線道路を繋ぐ環状道路の整備を行ったものであり、今回区間の完成により久留米市初の環状道路が誕生し、市中心部の交通混雑が大幅に緩和されました。</p> <p>今回は、最後の供用区間となった、2,820m の区間について整備内容、効果、また環境に配慮した取り組みとして行った、風致地区の復元について報告いたします。</p>	